

参考様式5
【児童福祉法】

* 変更の場合は変更年月日の当該月分、更新の場合は更新月分

従業者の勤務の体制及び勤務形態一覧表(実績表) (〇〇〇〇年 〇〇月分)

サービス種類	児童発達支援・放課後等デイサービス		事業所名	多機能型デイサービスまなぶ 〇〇校																																			
定員	10人	基準上の必要職員数※1	児童指導員、保育士または障害福祉サービス経験者 2名 (その内児童指導員または保育士 1名)																																				
職種	勤務形態※2	資格等※3	氏名	第1週							第2週							第3週							第4週							第5週※5		4週(1月)の合計	週平均の勤務時間	他の事業所の名称及び職名※6	他事業所での合計勤務時間数※7		
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						
				水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木						
サービス提供時間	平日	～																																					
	休日	～																																					
		: ～ :																																					
常勤職員の勤務すべき時間数※8		1日:〇時間〇〇分		1週:〇時間〇〇分		変形労働時間制		無 (1か月単位・1年単位 対象職種: 労基届出日:)																															
変形期間(当月1日が属する期間を記載):		月 日～		月 日		左の期間の常勤の勤務すべき時間数:		時間 分) ※8																															

従業者の職種・員数	職種		児童発達支援管理責任者		児童指導員		保育士		指導員		機能訓練担当職員		理学療法士等		←適宜、該当の職種を記載	
	専従・兼務の別	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	
常勤(人)	①	②														
非常勤(人)	③	④														
当該職種の勤務延べ時間数																←4週(又は1月)の合計数
当該職種の常勤が勤務すべき時間数																←4週(又は1月)の合計数
常勤換算後の人数																←勤務延べ時間数÷常勤が4週(又は1月)の合計数

- ※1 「基準上の必要職員数」欄は、必要職員数を職種毎に記載してください{例:児童指導員、保育士または障害福祉サービス経験者 2名 (その内児童指導員または保育士 1名)}
- ※2 「勤務形態」欄は、①常勤・専従、②常勤・兼務、③非常勤・専従、④非常勤・兼務のいずれかを記号で記載してください。育児短時間勤務者等の場合は「①短」「②短」と表記してください。
- ※3 「資格等」欄は、従業者の職種に関する資格の種類を記載してください。(教員、障害福祉サービス経験者等、学士(社会学)、児童福祉事業経験者 など)
- ※4 ※3の欄は、当該月の曜日を入力してください。
- ※5 変形労働時間制を採用している場合のみ、第5週まで時間数を記入し、「4週の合計」欄には第5週までの合計を記入してください。
- ※6 「他の事業所の名称及び職名」欄は、同一法人内の他事業所で兼務する者について、その事業所名称及び職名を記載してください。
- ※7 「他事業所での合計勤務時間数」欄は、他の事業所での4週間(又は1月間)の合計勤務時間数を記載してください。
- ※8 「常勤職員の勤務すべき時間数」欄は、当該事業所・施設における常勤職員の勤務すべき時間数を記載し、変形労働制を採用している場合のみその内容を記載してください。